

村田養豚場の排水設備の変遷



2016年12月中頃に汚水槽から古い浄化槽の方へ伸びていたパイプが取り外され、2017年1月中頃に汚水槽から水路へ突き出ているように見えるパイプが取り付けられた。



2017年5月5日ごろから汚水槽脇で配管を変更する工事が行われた。この工事は5月25日ごろに完了したとみられる。

(8)



(9)



汚水槽から突き出したパイプが短くされ、汚水槽と古い浄化槽の間に新しくパイプが配管された。

(10)



汚水槽から突き出したパイプの向こう側にある雑草が白っぽく汚れているようにも見える。



汚水槽から突き出たパイプが汚水槽の側壁に斜めに立てかけられた。くの字に曲がったパイプの出口が外の水路を向いているように見える。



やはり汚水槽から突き出たパイプの向こう側の雑草の葉が白く汚れているように見える。なお8月にはECメーターが夜間のピークを記録している。



2017年9月ごろからパイプの出口が内側に向けられ、時折勢いよく汚水を噴き上げるようになったが、やはり水路の雑草が白く汚れている。





木津川市による赤田川水質汚濁状況調査報告が出た後の、2017年11月末ごろ、水路側に立てかけられていたパイプが水路の反対側に移動した。



2017年12月中頃、汚水槽に黒いホースのようなものが差し込まれた。この黒いホースは2018年1月中頃まで設置されたが、その後撤去された。



2018年2月初め頃、汚水槽から汚水を噴き上げていたパイプが汚水槽から取り出され、汚水槽の外に置かれた。水中ポンプがついているのがわかる。



2018年4月中頃、汚水槽脇にコンクリート台の型枠が作られた。このコンクリート台はのちにのちに固液分離装置の台として使われる。



2018年5月初め頃から、汚水槽の汚水が抜かれた。汚水は溜めずに、ポンプで水路へ流していたとみられる。



2018年9月初め頃、木津川市の国有水路工事と並行して汚水槽及び2017年5月に設置された配管が撤去され、素掘りの穴とされた。穴は暗渠管で土留めされていた。これまで豚舎北西端の地下に集められた汚水が暗渠管を通して汚水槽に流し込まれていたが、その暗渠管の出口が見えている。



素掘りの穴にはすぐに汚水で満たされるようになった。汚水の溜まった穴から青いホースが暗渠管の縦穴に差し込まれた。



2018年10月初め頃、豚舎北西端にある地下の汚水溜まりに通じている縦穴から伸びたパイプが、水路の暗渠管の縦穴に差し込まれた。



2018年12月上旬、暗渠管に差し込まれていたパイプがやや太いものに付け替えられた。



2019年4月末ごろ、新しい排水設備の工事が始まった。



鉄筋の間隔が25cm程度とすると、水路側が深さ1m・幅6m・奥行き1.5m程度、水路の反対側が深さ15cm・幅7.5m・奥行き1.5m程度の槽となる。



汚水を溜めていた素掘りの穴に使われていた暗渠管は、赤田川北の土地に投棄されていた。



2019年5月中頃には、新しい汚水槽のコンクリート枠が完成した。



2019年5月下旬には、一時撤去されていたコンクリートの台が新しい槽の脇に据え付けられ、排水設備の周囲にコンクリートが敷かれた。



2019年5月末にはコンクリート台に振動節が二台取り付けられ、配管もほぼ完成した。水路と反対側の浅い槽に溜まっているのは雨水とみられる。水路側の深めの槽から写真左側に伸びているパイプは、水路側の槽に溜まった水を豚舎北西端の縦穴に戻しているとみられる。



水路側の深めの槽から左へ伸びるパイプがよりしっかりしたものに付け替えられた。また浅い槽脇から突き出たパイプが縦穴まで伸ばされた。



2019年6月中頃、新しい排水設備が稼働を開始した。しかしすぐに配管が変更され、汚水槽脇から突き出たパイプが暗渠管の縦穴に差し込まれた。





2019年7月初め頃、二つ目の振動篩が取り外され、モーター部品のみコンクリート台の上に置かれた。



2019年8月初め頃、水路の暗渠管に差し込まれていたパイプが取り外され、二つ目の振動篩が再び取り付けられた。また縦穴から最初の振動篩へ伸びるパイプが太いものに交換された。



2019年8月下旬には、水路側の汚水槽から水路の暗渠管の縦穴にホースが差し込まれた。



2019年9月3日には縦穴から伸びるパイプが外され、排水設備は機能していなかった。このように村田養豚場は、新しい排水設備の完成後もしばしば配管を変更しており、新しい排水設備が安定して稼働しているようには思われない。なお木津川市には新しい排水設備の詳細が伝えられていない。